

# 神奈川県大学体操競技選手権大会男子適用規則（2022年度版）

## 第1章 採点方針

本規則は、一般規則に準拠（目的、ねらい等）しつつ、大会の競技水準を考慮し、選手に対して公正かつ教育的な採点を行うことをねらいとする。また、本採点規則が全日本および関東学生体操競技連盟主催の競技会への出場を目途とした日々の練習目標として効果的に働くよう採点の指針を示す。

なお、ここに示すもの以外は、2022年版採点規則(日本体操協会発行)を適用する。

### 第1条 演技の採点

演技の決定点はDスコアとEスコアの合計により算出する。

短い演技に対してD審判は所定のND（ニュートラルディダクション）を適用する。

技数	ND
6技またはそれ以上	-0.0
5技	-1.0
4技	-2.0
3技	-3.0
2技	-4.0
1技	-5.0

### 第2条 Dスコア

跳馬を除くすべての種目は次に掲げる難度点、要求グループ、加点から算出する。

跳馬は日本体操協会採点規則2022年度版に準じた難度表の価値点から算出する。

演技においては、終末技と難度の高いものを順に9技までを数え、それぞれの難度に応じた価値点を合計し、難度点とする。

#### 1. 難度点

難度に応じた価値点は下記の通りとする。

難度	A	B	C	D	E	F	G	H	I
価値点	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9

1) 下記に示す技は日本体操協会採点規則2022年度版に示された難度表とは異なる難度を与える。（高校適用規則に準ずる）

#### つり輪

- ・屈腕ほん転逆上がり倒立 C 難度+実施減点 (グループ I 伸腕と同一粋)
- ・屈腕後ろ振り上がり倒立 C 難度+実施減点 (グループ I 伸腕と同一粋)

#### 平行棒

- ・前振りひねり支持 4 5 度未満 : C 難度+実施減点 (倒立位と同一粋)

#### 鉄棒

- ・足裏支持回転 (ひねり) 倒立 A 難度 (グループ III)

2) 下記の終末技は A 難度と認め、要求グループを満たすことができる。

つり輪、平行棒、鉄棒・・・前方・後方かかえ込み宙返り下り

3) 上記以外で、日本体操協会採点規則 2022 年度版に掲載されていない技も体操的な運動を含んでいれば A 難度として認定する。ただし、要求グループを満たすことはできない。

#### ※A 難度認定例

ゆ か・・・側転、ロンダート、倒立前転、後転倒立 など

あん馬・・・上向きおり など

つり輪・・・開脚前挙 など

平行棒・・・支持後ろ振りから下向きおり、支持前振り 1/2 ひねりおり など

鉄棒・・・前方支持回転、後方支持回転、ふりとびおり、グライダーおりなど

4) 跳馬の難度表に記載されていない技の D スコアについて

開脚とび・・・1.00 閉脚とび・・・1.00 台上前転・・・1.00

※その他の記載されていない跳躍をする場合は審判会議前に申請をする。

## 2. 要求グループ

跳馬を除くすべての種目に 4 つの要求グループがあり、演技全体からみて 1 つを満たすごとに 0.50 が与えられる。ただし、終末技は国内内規規則を適用する (A 難度 : 0.1 B 難度 : 0.2 C 難度 : 0.3)。1 技で 2 つの要求グループを満たすことはできない。

1) ゆ か

- I 跳躍技以外の技
- II 前方系の跳躍技
- III 後方系の跳躍技
- IV 終末技 (グループ I 以外の技)

2) あん馬

- I 片足振動技・交差技
- II 旋回・旋回倒立・転向技
- III 旋回移動・転向移動技
- IV 終末技

- 3) つり輪
  - I 振動・振動倒立技
  - II 力技・静止技
  - III 振動からの力静止技
  - IV 終末技
- 4) 平行棒
  - I 両棒での支持技
  - II 腕支持振動技
  - III 長懸垂・逆懸垂振動技
  - IV 終末技
- 5) 鉄 棒
  - I 懸垂振動技
  - II 手放し技
  - III バーに近い技・アドラー系の技
  - IV 終末技

### 3. 加点

D スコアの組み合わせ加点は日本体操協会採点規則 2017 年度版に準ずる。

### 第3条 Eスコア

採点の指針として、次のような演技を評価する。

- ・演技全体として優雅さ、雄大さが顕著に認められる演技
- ・演技全体として継続的で安定性のある演技
- ・各技において、顕著な雄大さがみられる
- ・演技構成において、個人の能力に応じた工夫や技の組み合わせのみられる演技

#### 1. 減点項目

減点項目については下記の通りとし、細部については教育的配慮も含め各審判員の裁量とする。なお、大欠点及び落下の減点が生じた技については難度を認定できない。

- 小欠点               : -0.1 (姿勢の軽微な乱れ、手の持ちかえ、倒立等での1歩等)
- 中欠点               : -0.3 (四肢、体幹の部分的な明らかな曲がり、開き等)
- 大欠点および停止: -0.5 (落下はしないが明らかな技の失敗等)
- 落 下               : -1.0 (技の失敗)

#### 2. 特殊な減点項目

特殊な減点項目については下記の通りとする。

- ・ダブルスイングに関する減点 : 全体で-0.5 まで
  - ・選手として不規律な態度 : -0.5
  - ・試合着の不備 : -0.3 (最初の種目のみチーム得点、個人得点から)
- 決定点からの減点
- ・ラインオーバー 片手もしくは片足 : -0.1
  - 両手、両足、片手と片足もしくは手足以外の部分 : -0.3
  - フロアエリア外から開始された技 : 難度不認定
  - ・タイムオーバー ~7.2秒まで : -0.1
  - 7.2秒~7.5秒まで : -0.3
  - 7.5秒を越える : -0.5

## 第2章 補足

### 第1条 禁止技

個人の能力を超えた危険な技については、審判の判断で技として認定しないことが出来る。ゆかの宙返り転は禁止技とし、価値が認められない。

### 第2条 補助について

事故防止と選手の精神的援助のため、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒において2名までの補助者が立つことが許される。

上記以外の種目においては、主審に了解を得て補助者が立つことが許される。

### 第3条 追加マットについて

追加マットの使用は、あん馬以外の種目に対し認められる。ただし、着地に関する減点は当該の減点を行う。

### 第4条 種目特有のNDについて

- |     |               |        |
|-----|---------------|--------|
| ゆか  | 2回宙返り技がない     | : 減点なし |
| つり輪 | 振動倒立技がない      | : 減点なし |
| ゆか  | 全てのコーナーを使用しない | : -0.3 |
| あん馬 | 馬体の3部分を使用しない  | : -0.3 |

2022年7月5日  
神奈川県大学体操競技連盟